

令和5年度 松江市の財務諸表(一般会計等)

**貸借対照表** 住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)	【負債の部】(将来の世代が負担する金額)
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎等) 3,084億98百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金等) 979億60百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェア等) 3億71百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金等) 177億12百万円
3 投資等 (基金、貸付金、出資金等) 190億74百万円	<b>負債合計</b> 1,156億72百万円
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金等) 97億86百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)
うち、現金預金 ① 36億12百万円	<b>純資産合計</b> 2,220億57百万円 ②
<b>資産合計</b> 3,377億29百万円	<b>負債・純資産合計</b> 3,377億29百万円

**資金収支計算書**

「一般会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

前年度末資金残高	34億4百万円
本年度資金収支額	△5億23百万円
1 業務活動収支 (税収、補助金支出、職員給与等) 88億95百万円	
2 投資活動収支 (公共資産整備支出、基金積立等) △72億54百万円	
3 財務活動収支 (地方債の借入、地方債の償還) △21億64百万円	
<b>本年度末資金残高A</b>	<b>28億81百万円</b>
前年度末歳計外現金残高	6億97百万円
本年度歳計外現金増減額	34百万円
<b>本年度歳計外現金残高B</b>	<b>7億31百万円</b>
<b>本年度末現金預金残高(A+B)</b>	<b>① 36億12百万円</b>

**純資産変動計算書**

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

前年度末純資産残高	2,216億79百万円
当期変動額	3億78百万円
純行政コスト(▲)	△931億24百万円 ③
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金等) 935億2百万円	
2 その他 (資産評価差額、無償所管換等) 0円	
<b>期末純資産残高</b>	<b>② 2,220億57百万円</b>

**行政コスト計算書**

1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常費用】A	957億46百万円
1 業務費用 (人件費、物件費、その他の業務費用) 477億11百万円	
2 移転費用 (補助金等、社会保障給付、他会計繰出等) 480億35百万円	
【経常収益】B	31億64百万円
1 使用料及び手数料	20億17百万円
2 その他	11億47百万円
<b>純経常行政コストC(A-B)</b>	<b>925億82百万円</b>
1 臨時損失D	7億69百万円
2 臨時利益E	2億27百万円
<b>純行政コスト(C+D-E)</b>	<b>③ 931億24百万円</b>

**【4表の相互関係】**

①「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致  
 ②「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致  
 ③「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

松江市の財政分析

**市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況**  
(令和6年3月31日現在の住民基本台帳人口194,814人に基づき算出)

- 資産 173万4千円
- 負債 59万4千円
- 行政サービスの提供 47万8千円

**道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率**

- 将来の世代の負担率 20.58%

●公共施設等の資産老朽化率 66.04%

●基礎的財政収支(プライマリーバランス)は自らの財源で運営できているか  
25億97百万円の黒字

**基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報**

業務活動収支	88億95百万円
支払利息支出	4億6百万円
投資活動収支	△72億53百万円
基金積立収支	5億49百万円
<b>基礎的財政収支</b>	<b>25億97百万円</b>

※一般会計等の内訳

- 【一般会計等】**
- ・一般会計
  - ・公園墓地事業特別会計
  - ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計